

第57回 福岡県公民館大会



結び合う ちから 未来へ 響きあう

——— 北九州市制50周年〈平成25年(2013)2月10日〉 ———



東田第一高炉跡



南河内橋(通称めがね橋)



皿倉山からの“100億ドルの夜景”

平成24年8月2日(木) 北九州市 八幡市民会館

主催

福岡県公民館連合会
福岡県教育委員会

目 次

第57回福岡県公民館大会 県公連会長あいさつ	1
第57回福岡県公民館大会 開催要項	2
平成24年度公民館役職員表彰一覧	4
平成24年度優良公民館表彰一覧	7
講演	8
インタビュー・ダイアログ	10
福岡県公民館大会年表	12

【東田第一高炉跡】

八幡東区東田にある東田第一高炉は、明治34年(1901)、わが国初の本格的製鉄所として建設された「官営製鐵所」で、最初に火入れされた溶鉱炉です。北九州市では、平成8年(1996)、市指定文化財(史跡)に指定、周辺を整備し、「九州・山口の近代化産業遺産群」として世界文化遺産の登録も目指しています。

【南河内橋(通称めがね橋)】

国指定重要文化財で八幡東区の河内貯水池にあるこの橋は、橋長132.97m、径間66m、幅員4.1mのレンティキュラートラス二連からなる世界的にも珍しい構造で、その形状から通称「めがね橋」と呼ばれています。竣工大正15年(1926)。

【皿倉山】

北九州市内を一望できる皿倉山(622m)は、権現山、帆柱山などとともに帆柱連山を形成し、北九州国定公園の一部となっています。市街地のすぐそばにあるとは思えないほど豊かな自然に恵まれ、昆虫や動物も多く生息しています。

また、夜景の美しさは特にすばらしく“100億ドルの夜景”と呼ばれており、新日本三大夜景のひとつとされています。

【北九州市制50周年〈平成25年(2013)2月10日〉】

昭和38年(1963)2月10日に旧五市(門司・小倉・八幡・若松・戸畑)が対等合併し誕生した北九州市は、来年の平成25年(2013)2月10日に市制50周年を迎えます。

この節目の年を市民の皆さまと共に祝い、これまでの50年を振り返るとともに、これからの50年を展望することで、未来へとつなげる年にしたいと考えております。

第57回福岡県公民館大会 県公連会長あいさつ



福岡県公民館連合会会長 中嶋裕史

第57回福岡県公民館大会の開催に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本大会が、公民館に輝かしい歴史のある北九州市八幡市民会館におきまして、県内各地から、公民館活動に関わっておられます皆様方の御参加をいただき、盛大に開催されますことをたいへん嬉しく思います。御存知の方もいらっしゃると思いますが、この八幡市民会館は、昭和26年に、全国にさがかけて都市型公民館として設置された「八幡市公民館」があった場所でございます。

本日は、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった方々や、公民館運営及び事業が優秀な公民館に対しまして、福岡県公民館連合会から表彰をさせていただきます。表彰を受けられます皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

さて、公民館は、地域住民の学習活動や交流の拠点施設として、地域の実態に即した公民館活動を展開するなど、活力と潤いのある地域社会の創造に大きく貢献をしております。

しかし、少子高齢化や都市化・情報化の進展等社会情勢の急速な変化や、東日本大震災という未曾有の災害から学んだことを踏まえ、これからは、学習活動を媒介として多様な人が集い、協働するための体制づくりや、住民一人ひとりが主体的に社会参画し相互に支え合うための環境を整えていくことなどが求められています。

このため、個人の要望と社会の要請に応え、地域の振興・発展を担う公民館の充実・発展に向けて、関係者の研鑽を深めることが重要であります。

本大会では、こうした視点を踏まえ、大会テーマに「絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けて」を掲げております。

本日は、まず初めに、東北芸術工科大学教授の松田道雄様に「地域の絆を深め、活力あるコミュニティを創造する公民館の役割」と題し、御講演をお願いしております。午後からのインタビュー・ダイアログでは、3名の実践家をお招きし、「元気の出るまちづくり」をテーマに、協議を深めてまいりたいと考えております。

本大会が、皆様方にとりまして、実り多き大会となりますことを、心から御期待申し上げます。

終わりに、本大会の開催に当たり、準備から運営に至るまで、多大なる御支援を賜りました地元北九州市の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げますとともに、御参加いただいた皆様のますますの御活躍と御健勝を祈念申し上げ、あいさつといたします。

平成24年8月2日

第57回 福岡県公民館大会開催要項

- 1 趣 旨 社会情勢が急激に変化する中で、県内の公民館関係者・コミュニティ施設関係者が一堂に会し、公民館として果たすべき役割等について理解を深めることにより、今後の公民館等の活動の一層の充実・発展に資する。
- 2 大会テーマ 「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」に向けて
- 3 主 催 福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会
- 4 主 管 北九州市教育委員会
- 5 後 援 福岡県、北九州市、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県社会教育委員連絡協議会、福岡県視聴覚教育協会、福岡県青少年問題協議会、福岡県PTA連合会、福岡県地域婦人会連絡協議会、福岡県青年団協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県文化団体連合会、福岡県明るい選挙推進協議会、福岡県金融広報委員会
- 6 期 日 平成24年8月2日（木）
- 7 会 場 北九州市 八幡市民会館
〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉2丁目6-5
TEL 093-671-6061
- 8 参 加 者 約1,000名
公民館職員、公民館運営審議会委員、自治（町内）公民館関係者、コミュニティ施設関係者、社会教育委員、行政関係者、学校教育関係者

9 日 程

9:30～10:15 受 付

10:15～11:00 **大会式典**
・主催者あいさつ
・来賓祝辞
・表彰式
・日程説明

11:00～12:10 **講演**
「地域の絆を深め、活力あるコミュニティを創造する公民館の役割」
東北芸術工科大学 教授 松田 道雄 氏

12:10～13:10 昼 食

13:10～15:00 **インタビュー・ダイアログ**
「元気の出るまちづくり」
コーディネーター
大野城まどかぴあ 館長 林田 スマ 氏
登壇者
愛媛県 人間牧場主 若松 進一 氏
佐賀県 武雄市朝日公民館
前館長 河内 利大 氏
福岡県 八女市ランドマーク
代表 田原 照久 氏

15:00 **閉 会**
・次期開催地あいさつ



福岡県公民館連合会表彰

祝

平成24年度公民館役職員表彰

平成24年度優良公民館表彰

平成24年度福岡県公民館連合会公民館役職員表彰一覧

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績(分野及び内容)
公立公民館	1	福岡市	にしぐちともこ子 西口智子	東区 まいだしこうみんかん 馬出公民館	公民館 主事	【青少年教育】 子育てサロンを立ち上げ少子高齢化問題に積極的に取り組み、地域の子どもの健全な成長を目指すとともに、地域に親しまれる身近な公民館づくりを実践してきた。
	2		あかしやすこ子 明石ヤス子	東区 なじまこうみんかん 名島公民館	公民館 主事	【青少年教育】 子ども同士のふれあいの場や居場所を提供し、心豊かな人間性の醸成を図ることを目的に「こどもひろば」「アンビシャス広場」を実施し、地域の方々との親密な関係づくりに貢献した。
	3		たなかひでき 田中英樹	東区 さいとさきこうみんかん 西戸崎公民館	公民館 主事	【地域づくり】 校区の特色ある行事である祇園祭など長年関わりをもち、積極的に参加し、公民館と地域の各種団体との共働が円滑にいくよう努めてきた。
	4		なかむら 仲村みどり	東区 わしろひがしこうみんかん 和白東公民館	前公民館 主事	【家庭教育】 長きにわたり多くの経験と実績のもと、子ども達の育成に従事するとともに、高齢者の文化的・社会的な修学の場の提供、公民館のグループサークルの運営等積極的に取り組んだ。
	5		はらようこ子 原羊子	東区 ちはやしこうみんかん 千早西公民館	公民館 主事	【地域づくり】 子育て世代の支援に力を注ぎ、地域住民の仲間づくり等にご貢献した。また、異年齢交流を中心に、子どもや高齢者が安心して生活できる環境づくりやまちづくりに積極的に取り組んできた。
	6		つのだまりこ子 角田真理子	東区 こうりょうこうみんかん 香陵公民館	公民館 主事	【地域づくり】 校区の子ども達から大人までが公民館や地域の活動に関心を持つような斬新な内容を取り入れた事業を積極的に実施し、地域課題解決のため熱意を持って取り組んだ。
	7		やすたけじゅうじろう 安武重次郎	博多区 ひがしすみよしこうみんかん 東住吉公民館	前館長	【地域づくり】 地域づくり、コミュニティ活動が難しい状況の中、希薄となりがちな地域住民間の交流を進め、活発な地域活動推進に努め、校区内のコミュニティ活動等支援に尽力した。
	8		さいとうたけみ 齊藤竹美	博多区 つきぐまこうみんかん 月隈公民館	前館長	【青少年教育】 青少年育成分野に積極的に関わり、伝承文化の継承や子ども達の健全育成のため尽力した。また明るいまちづくりと親しまれる、住民のための公民館づくりに努めた。
	9		ひろたかつよし 廣田勝義	南区 らうじこうみんかん 老司公民館	館長	【公民館施設の管理・運営】 多様化する地域住民の学習ニーズに対し、地域課題を的確に捉え、地域と密着した子どもから高齢者まで幅広い事業の実施に努め、地域住民の学習意欲の喚起を図ってきた。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績(分野及び内容)
公立 公民館	10	福岡市	おちあゆみこ 落合由美子	南区 よてこうみんかん 横手公民館	公民館 主事	【青少年教育】 永きにわたり、公民館主事として各種事業の企画実施に優れた手腕を発揮し、特に、横手小学校と地域が連携・融合し、多様な学習や体験等の機会の創出や、公民館と地元との調和に寄与した。
	11		ふじたはるこ 藤田治子	城南区 かなやまこうみんかん 金山公民館	公民館 主事	【地域づくり】 永きにわたり、公民館と地域諸団体との合同の事業や研修の実施等を助言し、地域組織の活性化に常に努力し、公民館を地域コミュニティの拠点施設へと成長させた。
	12		かわさきよし 川崎 良	城南区 つづみがおかこうみんかん 堤丘公民館	前館長	【地域づくり】 講座の企画段階から関わるような地域の人材を積極的に発掘したり、若い世代に公民館への一歩を運んでもらうような企画を立て実施するなど、地域と公民館の活性化に取り組んできた。
	13		おおくぼくにこ 大久保國子	早良区 にしじんこうみんかん 西新公民館	館長	【団体育成・サークル活動】 地域ボランティアの手による子育て交流サロン「すくすくランド西新」を育成・支援し、若年層の新住民の子育てや家事などの悩みを分かち合える貴重な場とすることに尽力した。
	14		わたなべふみこ 渡辺富美子	早良区 いるべこうみんかん 入部公民館	公民館 主事	【地域づくり】 子育てクラブや子育てサロン等を通じて、地域ボランティアの発掘を行うなど、子育て支援に積極的に取り組み、卓越した事務能力を発揮して、地域の特性にあった公民館事業を企画し遂行した。
	15	久留米市	こがやすお 古賀康夫	くるめしみづまこうみんかん 久留米市三瀬公民館 公民館運営審議会	委員	【地域づくり】 永きにわたり、社会教育の振興に寄与し、地域における実践的な社会教育活動も含め地域づくり、ひとづくりに貢献した。
	16		はらたけみ 原武 稔	くるめしみづまこうみんかん 久留米市三瀬公民館 公民館運営審議会	委員	【地域づくり】 永きにわたり、スポーツ振興からまちづくりに至るまで広く提言され、充実した事業展開になるよう貢献した。
	17	柳川市	なかむらとみあき 中村十三昭	柳川市 かまちこうみんかん 蒲池公民館	館長	【青少年教育】 永きにわたり、青少年の健全育成に関する活動や、学校・地域との連携にも積極的で、地域で子どもを育成していく体制づくりを強化し、青少年を見守る地域づくりに大きく貢献した。
	18		ふじきはるひこ 藤木春彦	柳川市 ろくごうこうこうみんかん 六合校区公民館	館長	【地域づくり】 各スポーツイベントの運営に関わり、地域住民の親睦及び健康増進に寄与するとともに、安全安心のまちづくり運動の普及や青少年の健全育成にも貢献した。
	19	行橋市	あべちづる 安部千鶴	行橋市 いずみこうみんかん 泉公民館	主事	【団体育成・サークル活動】 女性学級、子ども講座の開設、及び自主学習グループの育成等、地域に根ざした生涯学習の推進に努め、地域住民に密着した活動を行い地域の活性化に寄与した。
	20	古賀市	きのしたただし 木下 忠	古賀市 公民館運営審議会	会長	【青少年教育】 県民運動、青少年アンビシャス運動を地域に広め、アンビシャス広場の開設、分館活動とのコーディネートを行い、自らも地域のリーダーとして青少年の育成に尽力した。
	21		さいとうかんじ 齊藤貫治	古賀市 公民館運営審議会	副会長	【公民館施設の管理・運営】 中央公民館の利用について、利用者の立場にたつての意見や、施設の改善について専門的な指導を行い、市中央公民館の運営に貢献してきた。
	22	朝倉市	こじまかずお 小島 一夫	あさくらしふくだこうみんかん 朝倉市福田公民館 公民館運営審議会	前委員	【地域づくり】 福田地区の「住みよいまちづくり」のために貢献し、歴史、祭り、伝統行事の継承、公民館運営に対する的確な助言や推進をはじめ、地域の発展振興のために全力を傾注した。
	23		もといしてるゆき 本石輝之	あさくらしただしこうみんかん 朝倉市立石公民館 公民館運営審議会	前委員	【地域づくり】 地域の要望・願い等の情報をいち早く伝え、充実した事業活動に貢献し、地域と公民館の良好な関係づくりを行い、公民館を中心とした地域ネットワーク構築に尽力した。

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績(分野及び内容)
公立 公民館	24	みやま市	こば庭 誠	みやま市 せとかごみんかんしほし かん 瀬高公民館下庄支館	前支館長	【地域づくり】 趣味や教養を高める学習活動の場として開設された「下庄学級」の充実を図り、地域住民の知恵や経験を学校に取り入れ、学校と地域が連携して互いに触れ合う開かれた公民館運営に尽力した。
	25		へばる ひで お 雄	みやま市 せとかごみんかんしほし かん 瀬高公民館南支館	前支館長	【地域づくり】 スポーツ推進事業や敬老祭といった歴史ある活動を継承するとともに、時代の流れに合わせた事業も積極的に展開し、地域の子どもからお年寄りまでが共に関わり合えるような土台を築いてきた。
	26	岡垣町	いし だ れい こ 子	岡垣町 公民館運営審議会	前委員	【公民館施設の管理・運営】 三味線及び唄の指導者として、自ら公民館講座等で大人や子どもの指導を行うなかで感じた改良点を投げかけ、公民館運営の改善に貢献した。
自治 （町内） 公民館	27	北九州市	なん り いさむ 勇	小倉北区 かたの しんまち こうみんかん 片野新町公民館	館長	【地域づくり】 地域と協力しながら、様々な年齢の方が交流できる健康事業、体育事業、地域清掃・環境整備を積極的に行い、地域づくり及び生涯学習の普及、自治公民館の活性化に尽力している。
	28		わ だ せい じ 志	小倉北区 しんたかだ こうみんかん 新高田公民館	館長	【地域づくり】 地域と協力しながら、様々な年齢の方が交流できる健康事業、体育事業、地域清掃・環境整備を積極的に行い、地域づくり及び生涯学習の普及、自治公民館の活性化に尽力している。
	29		くに まさ かず よ 代	小倉南区 なかしい こうみんかん 中志井公民館	館長	【地域づくり】 花祭り、夏祭り、敬老会、青年野球大会、子どもの夏休み講座、キャンプ等、年間を通じて地域の幅広い年齢層の方が参加できるような事業を企画・実行し地域づくりに貢献している。
	30		いわ たに ひで ゆき 行	小倉南区 ぬまく こうみんかん 沼区公民館	館長	【地域づくり】 花祭り、夏祭り、敬老会、青年野球大会、子どもの夏休み講座、キャンプ等、年間を通じて地域の幅広い年齢層の方が参加できるような事業を企画・実行し地域づくりに貢献している。
	31		なか はら こう じ 次	八幡東区 あさひが おか かい かん 旭ヶ丘会館	館長	【地域づくり】 防犯・フットボール、ふれあい昼食会、町内盆踊り大会、文化祭など自治会、まちづくり協議会、青少年育成協議会などと連携しながら積極的に活動し、多くの住民に利用される自治公民館を運営している。
	32		まつ お まさ たか 孝	八幡西区 やまうら こうみんかん 山浦公民館	館長	【地域づくり】 少子高齢化、近隣との疎遠問題の対策に取り組み、安全・安心のまちづくりにつなげるとともに、多くの住民が参加できるような行事の運営に努めた。
	33		かわ の かつ じ 司	八幡西区 しも かつきさんじょうこうみんかん 下香月三条公民館	館長	【地域づくり】 年2回の廃品回収やバスハイク、新入生の歓迎会と卒業生の送別会を実施し、子どもと親、地域とのふれあいを大切にし、盆踊りやしめ縄奉納等の伝統文化行事にも熱心に取り組んできた。
	34		せり た しゅう じ 二 章	八幡西区 おひらき こうみんかん 御開公民館	館長	【地域づくり】 地域内全員を対象とした運動会の開催、敬老会や子ども会への後援、見守り活動、防災活動、地域一斉美化活動を展開し、安全安心なまちづくりに努めた。
	35	飯塚市	く ぼ つね じ 次	飯塚市 ひがしまちひがし じ ち こうみんかん 東町東自治公民館	前館長	【地域づくり】 永きにわたり、地域行事開催の先頭に立ち、指導力を発揮し、自治会の文化・体育活動の向上及び社会福祉の増進に努め、公民館活動の振興、活性化に多大の貢献をした。
	36		くに まる いさお 勲	飯塚市 かたしまかつもり じ ち こうみんかん 片島勝守自治公民館	前公民館主	【地域づくり】 自治会の文化・体育活動等計画立案し、子ども山笠、花いっぱい運動等地域行事には積極的に運営に関わり、地域振興・活性化に多大の貢献をした。
37	田川市	み よし まさ ゆき 幸	田川市 な ら こうみんかん 奈良公民館	前館長	【地域づくり】 永きにわたり、多くの地域行事を企画・実践するとともに、公民館に属する団体の育成、校区の行事にも携わり、住民のふれあいと連帯感を高め、住みよい地域づくりに尽力した。	

種別	番号	市町村名	氏名	所属	役職名	業績(分野及び内容)
自治(町内)公民館	38	八女市	にしきやすのり 西木康則	八女市 くりばやしこうみんかん 栗林公民館	前館長	【地域づくり】地域の繋がりが希薄になりがちな住民の交流を図った運動会、都会住民との交流事業、久木原地区の子供会と自治公民館が連携した通学合宿等、地域の社会教育の振興に貢献した。
	39	筑後市	のまぐちやすお 野間口康夫	筑後市 かんばらばらこうみんかん 上原々公民館	館長	【青少年教育】「キックベースボール大会」、芋植え、芋堀り等地域の子どもたちを対象とした事業に取り組み、子どもと地域の行事を結ぶ活動を推進し、活性化を図ってきた。
	40		なりきよよしひこ 成清喜彦	筑後市 くらかすこうみんかん 蔵数公民館	前館長	【地域づくり】公民館の敷地に花壇を整備するなど、環境美化に努めるとともに、高齢者に対する福祉事業や伝統行事においても積極的に運営に関わり、地域の活性化に貢献した。
	41	筑紫野市	えとうけんいち 江藤憲一	筑紫野市 むらさきが おか こう みん かん 紫ヶ丘公民館	館長	【地域づくり】住民が自分たちの力で考え行動するような行事の実施や、サークル活動の育成・指導の推進等の基礎を築き、公民館の活性化、地域づくりに大いに貢献した。
	42	小郡市	いのうえみとし 井上美俊	小郡市 ちゅうおういっく こうみんかん 中央1区公民館	館長	【青少年教育】永きにわたり、公民館だよりを継続して発行するとともに、アンビシャス広場を開設して、子どもたちの仲間づくりを中心に活動し、地域の子どもたちが他の行事にも関わられるよう積極的に携わってきた。

平成24年度福岡県公民館連合会優良公民館表彰一覧

種別	番号	市町村名	公民館概要			特色	
			公民館名	所在地	館長名		
自治(町内)公民館	1	宗像市	公民館名	所在地	館長名	公民館を中心に活動することを目的に、世代間交流ができるもの、伝統行事を多く取り入れている。年間行事としては、運動会的な要素を取り入れた春のフェスティバル、七夕、ソーメン流し、夏まつり、敬老祝賀会、秋の文化祭、もちつき大会、どんど焼きなど、毎月1回の頻度で行事を実施し、地域への影響力は多大である。	
			じょうせいが おか こう みん かん 城西ヶ丘公民館	〒811-3404 宗像市城西ヶ丘4丁目21-1	荒木志津馬		
			施設・設備の状況	敷地面積	1,500㎡		
				建物延面積	298㎡		
				構造	木造1階建		
				建築年月日	H3.4		
	主な設備	大ホール/小ホール/和室/和室/調理室					
	2	大川市	公民館名	所在地	館長名		
			きたさけみ こうみんかん 北酒見公民館	〒831-0016 大川市大字酒見943番地	酒見義男		
			施設・設備の状況	敷地面積	652.96㎡		
建物延面積				213.23㎡			
構造				木造平屋建			
建築年月日				H21.11.18			
主な設備	集会場/炊事場/洗面所/倉庫/その他						

講演

「地域の絆を深め、活力あるコミュニティを創造する公民館の役割」

東北芸術工科大学教授・着想家

松田 道雄



〈プロフィール〉

- ・1961年 山形市生まれ
- ・1984年 山形大学人文学部卒業
- ・1986年 山形県内中学校社会科教員
- ・1993年 山形大学教育学部附属中学校社会科教員
- ・1994年 山形大学大学院教育学研究科修士課程修了
- ・2002年 山形県内中学校社会科教員
- ・2006年 東北芸術工科大学こども芸術教育研究センター准教授
- ・2008年 高千穂大学人間科学部准教授
- ・2010年 高千穂大学人間科学部教授
- ・2011年 東北芸術工科大学教授（現在）（社会活動論、フィールドワーク論）

〈現在の主な公職等〉

- ・東京都杉並区社会教育委員（2009～2010年）
- ・杉並区すぎなみ大人塾「だがしや楽校を開こう！」学習支援者
- ・山形県まちづくりサポーター

〈主な著作・論文等〉

- 『駄菓子屋楽校』新評論 2002
- 『天文カフェ』彩流社 2003
- 『だがしや楽校のススメ』共著、創童舎 2003
- 『輪読会版・駄菓子屋楽校』新評論 2008
- 『関係性はもう一つの世界をつくり出す』新評論 2009
- すぎなみ大人塾だがしや楽校編集委員会『縁育ての楽校』日本地域社会研究所 2010

〈現在の活動等〉

連載「生涯にわたって社会のいたるところで学ぶための方法序説・発想する！授業」
（「社会教育」全日本社会教育連合会）

ブログ「駄菓子屋楽校」<http://gs.tuad.ac.jp/matsuda/>

連絡先：dagashiyamatsuda@gmail.com

≡≡≡ ヌ ㄗ ≡≡≡

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.

〈インタビュー・ダイアログ〉

「元気の出るまちづくり」

〔コーディネーター〕



大野城まどかぴあ館長・アナウンサー **林田 スマ**

九州大学大学院人間環境学府修士課程修了。福岡県青少年アンビシャス運動推進委員、教育力向上福岡県民運動推進会議委員、九州国立博物館評議員、学校法人中村学園理事など。著書に『ことばの花束』『こころの花束』など。

アナウンサーとして現在ラジオ番組などを担当。大野城まどかぴあでは館長として市民力を巻き込みながら多くの事業を展開し、男女共同参画のまちづくりに向けて活動を続けている。

〔登壇者〕



愛媛県 人間牧場主 **若松 進一**

1944年愛媛県生まれ。愛媛県青年団連合会会長、双海町公民館主事、第10回総理府派遣青年の船班長、愛媛県公連主事部会長、双海町地域振興課長、双海町教育長、愛媛大学文学部非常勤講師、愛媛大学農学部客員教授。

現職中、夕日をテーマにまちづくりを推進し、「夕やけプラットホームコンサート」、「ふたみシーサイド公園整備」を手掛ける。国土交通省観光カリスマ百選選定。人間牧場を建設し、「子ども体験塾」「年輪塾」などを主宰している。



佐賀県 武雄市朝日公民館 前館長 **河内 利大**

佐賀県立唐津南高等学校校長を退職後、NPO法人市村自然塾（農業体験塾）初代塾頭、佐賀女子短期大学非常勤講師、武雄市朝日公民館長を経て、現在は佐賀県高齢者大学非常勤講師、佐賀県明るい選挙推進委員を務めている。

公民館長としては、大人も子どもも群れなくなった無縁社会化へ向かう時代、「群れの復活」を提唱、高齢者野菜無人販売所「朝日の里」を公民館玄関に設置、人生2度目の「朝日町青年団」づくり、学社連携としての「子どもの農業体験事業」等に力を注いだ。



福岡県 八女市ランドマーク 代表 **田原 照久**

高校在学時演劇部に所属し、地域の小・中学校をはじめ、教育関連の大会での演劇公演などを行う。高校卒業後も母校の演劇部の指導に通う傍ら、小学校などでの自己表現講座や地域イベントのボランティアスタッフなどの活動を行っていた経験を生かし、2011年より何でも屋団体「RANDMARK」を発足。様々な地域イベントへの参加だけでなく、地域のお祭りの制作運営や農家の方々の収穫や苗植えのお手伝いなど地域に密着した活動を行っている。

==== ヂ 屯 ====

Handwriting practice area consisting of 20 horizontal dotted lines.

福岡県公民館大会年表

大会	日時	開催地	大会主題	全体討議テーマ
第1回	昭和28年1月	県社会教育会館		
第2回	昭和29年4月	八幡市		
第3回	昭和29年11月 19日～20日	筑紫郡二日市町 中央公民館	社教法5周年、青振法1周年を記念し公民館・青年学級の重要な諸問題を研究討議し、具体策を探り、既に展開している生活自立運動の促進を期す。	公民館の振興はいかにあるべきかー社会教育の反省と将来
第4回	昭和30年11月 21日～22日	大牟田市 中央公民館	戦後10年間の公民活動を反省し、困難な諸問題について徹底的に研究協議を行い、具体的振興策を樹立すると共に生活自立運動の推進を期す。	赤字財政下の公民館をいかに振興するか。
第5回	昭和31年10月 25日	飯塚市中央公民館	公民館を社会教育機関として整備強化し、勤労青少年教育の振興事業の効率化・総合化・大衆化をはかり、新生活運動の促進を期す。	公民館の現状はこのままでよいか。
第6回	昭和32年10月 19日	豊前市八屋中学校	地方財政の窮迫や町村合併のなかで、公民館の組織運営を強化し、特に分館施設の整備と活動の活発化をはかる。	新生活運動の反省と今後の推進方策について。
第7回	昭和34年11月 21日～22日	福岡市中央公民館	社教法施行10周年を記念し、公民館10年の歩みを顧み新しい時代に即応する公民館のあり方と振興方策の研究	公民館10年の歩みとこれからの公民館
第8回	昭和35年10月 3日～4日	大川市市民会館	公民館運営の科学化・技術化を促進し、地域の社会教育センターにふさわしいものとするために設置基準に即して、当面する問題の研究	地域の社会教育センターとしての公民館の整備を計画的に推進するためにはどうしたらよいか。
第9回	昭和36年6月 3日～4日	直方市公会堂	地域社会の文化センターとして住民の実生活に即する社会教育の総合的推進に寄与する公民館活動と経営のあり方を求めて	地域の社会教育を総合的に推進するためにはどうしたらよいか。
第10回	昭和37年5月 13日～14日	行橋市行橋小学校	楽しく学び、豊かな暮らしと文化をつくるために公民館はどうしたらよいか。	青少年が楽しく学び健やかに成長するために公民館はどうしたらよいか。
第11回	昭和38年5月 25日～26日	北九州市戸畑区 文化ホール	住みよい地域社会に豊かな生活文化をつくろう。	新しい地域社会の建設と生活文化の向上発展に資するためには公民館はいかにあるべきか。
第12回	昭和39年5月 31日～6月1日	福岡市市民会館	ひとりひとりの生活をよくし、豊かな市民性を育てるために公民館はどうしたらよいか。	公民館への期待ーとくに市民性の向上を中心としてー
第13回	昭和40年5月 23日～24日	筑後市市民会館	変貌する社会における住民の社会教育活動を振興するための公民館の役割	地域住民の生活文化を高めるために果たすべき公民館の役割は何か。
第14回	昭和41年5月 24日～25日	田川市体育館	住民の創造的生活の確立をめざす自主的な学習活動を育てよう。	住民の創造的生活の確立のために(分科会テーマ)
第15回	昭和42年5月 14日～15日	豊前市市民会館	今日の生活をつみ、明日の生活を築くための公民館の役割とそのための施設設備の充実と配置のあり方	地方自治と住民の学習(記念講演)
第16回	昭和43年5月 28日～29日	北九州市 八幡市民会館	公民館の近代化と新しい活動の課題を求めて	社会生活の都市化と公民館の課題(記念講演)
第17回	昭和44年5月 31日～6月1日	太宰府町九州学園 福岡女子短大	急激な社会構造の変化に対処し得る人間づくりと新しい地域形成のための住民の教育機関としての公民館の新しいあり方と役割	これからの新しい公民館のあり方と役割(記念講演)
第18回	昭和45年5月 26日～27日	久留米市市民会館	未来をひらくための学習と公民館のあり方を考えよう。	公民館の理想と現実

大会	日時	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第19回	昭和46年5月 25日～26日	飯塚市 文化センター	住民の学習にこたえられるための公民館の施設設備を充実し、職員体制を整備し、市民社会を育てるための教育をすすめる。		岐路にたつ 70年代の選択(記念講演) 公民館の理想と現実
第20回	昭和47年7月 6日～7日	行橋市市民会館	住民の日常的学習要求に応じる公民館体制の確立と今日的役割を考え、また新しい地域社会(コミュニティ)形成のための公民館活動のあり方を考える。		明日を創る公民館の新思路(記念講演)
第21回	昭和48年5月 30日	福岡市立少年 文化会館ホール	生活に根ざす公民館活動の創造と前進		生活に根ざす住民の教育要求にこたえるための公民館の役割(シンポジウム)
第22回	昭和49年6月 6日	八女市 町村会館	魅力ある公民館の創造と前進	実践発表 対面討議 全体討議	住民にとって公民館とは何か
第23回	昭和50年6月 1日	直方市市民会館	豊かな地域づくりをめざす公民館の役割	シンポジウム 講演	コミュニティの形成と公民館 これからの公民館経営
第24回	昭和51年6月 3日	豊前市市民会館	住民の生活を高めるための公民館事業のあり方を考える。	パネル討議 講演	住民の求めに応ずる公民館事業のあり方 住民の生活を高めるための公民館事業
第25回	昭和52年9月 22日	北九州市小倉南 市民センター	住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える	分科会(9) 講演	これからの社会教育
第26回	昭和53年7月 5日	太宰府勤労者 体育センター	地域住民の学習要求に応えるための具体的な公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域と社会教育
第27回	昭和54年7月 3日	大川市 文化センター	多様化する地域住民の学習要求に応えるための公民館のあり方を考える	分科会(8) 講演	地域が育てる児童文化
第28回	昭和55年6月 12日	中間体育 文化センター	地域住民の実際生活に即した公民館の在り方について	パネル討議 講演	地域住民の実際生活に即した公民館の在り方について
第29回	昭和56年6月 3日	行橋市市民会館	公民館が果たすべき今日的意義と役割を考える	講演 シンポジウム(3)	青少年をとりまく諸問題に対処する社会教育
第30回	昭和57年6月 9日	北九州市 小倉市民会館	住民が主体となる公民館の在り方を考える	講演 分科会(8)	住民が主体となる公民館の在り方を考える
第31回	昭和58年8月 9日	福岡県立福岡勤 労青少年文化センター	「住民の実際生活に即した公民館の役割と機能を考える」-今、公民館は地域住民とともに何をしなければならないか-	講演 分科会(9)	「現代の青少年問題を考える」 -思いやりのある社会づくりのために-
第32回	昭和59年6月 22日	甘木文化会館	生涯教育の視点に立った公民館経営の在り方を考える	講演 パネル討議(3) 分科会(2)	ニューメディア時代を考える
第33回	昭和60年6月 13日	飯塚文化センター	生涯教育推進の拠点になる公民館のあり方を考える	講演 分科会(8)	生涯教育の推進と公民館の役割
第34回	昭和61年5月 30日	豊前市体育館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える	講演 分科会(7)	生涯学習と放送
第35回	昭和62年8月 6日	北九州市立 小倉市民会館	生涯学習を推進する公民館の役割・機能を考える	講演 分科会(7)	「豊かな心を育てる地域社会の役割」
第36回	昭和63年7月 27日	福岡県立福岡勤 労青少年文化センター	生涯学習社会の形成をめざす公民館のあり方を考える	講演 分科会(7)	「生涯学習社会における公民館の役割」
第37回	平成2年11月 21日	筑紫野市文化会館	生涯学習社会をめざす公民館のあり方を考える	講演 シンポジウム(1) 分科会(4)	生涯学習社会における公民館の役割

大会	日時	開催地	大会主題		全体討議テーマ
第38回	平成3年7月 31日	直方市市民会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	地域に根ざした公民館活性化への提言
第39回	平成4年7月 30日	久留米市 石橋文化センター	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	学校週5日制…公民館はどうする!!
第40回	平成5年9月 17日	大牟田市 大牟田文化会館	生涯学習時代に対応する公民館活動のあり方	講演 分科会(5)	ボランティアの心
第41回	平成6年7月 29日	田川市 田川文化センター	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動のあり方	講演 分科会(5)	生涯学習社会における公民館の役割
第42回	平成7年8月 3日	行橋市市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動の在り方	講演 分科会(5)	公民館を元気に未来的にしよう!!-“愛されるため”の魅力アップ…インテリジェント化-
第43回	平成8年8月 7日	北九州市立 小倉市民会館	住民とともに生涯学習社会を目指す公民館の学習・交流活動の在り方	講演 分科会(5)	生涯学習時代における公民館-粋な生き方と学衆国づくり-
第44回	平成10年8月 20日	志免町立 町民センター	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演 分科会(5)	公民館のこれから-社会教育を取り巻く環境の変化に対応するために-
第45回	平成11年7月 30日	中間市 なかまハーモニーホール	生涯学習時代における公民館の主体性と役割を考える	講演 分科会(5)	子どもと地域の教育力
第46回	平成12年7月 28日	久留米市 石橋文化ホール	新しい時代への期待、公民館の新たなあゆみを考える	講演 分科会(5)	新しい公民館活動のあり方～21世紀の公民館像をめぐって～
第47回	平成13年7月 27日	筑後市 サザンクス筑後	21世紀の到来、地域とともに歩む公民館活動の新たな戦略	講演 分科会(5)	家庭教育を支援する公民館活動のあり方
第48回	平成14年8月 2日	飯塚市文化会館	完全学校週5日制スタート、公民館の新たな役割を考える	講演 分科会(5)	社会教育の出番は、“今”～完全学校週5日制に対応した公民館活動のあり方～
第49回	平成15年7月 23日	苅田町立中央公民館	地域拠点としての公民館の新たな役割を探る	講演 分科会(3)	メディアから見た地域拠点としての公民館の役割
第50回	平成16年8月 31日	北九州市 北九州芸術劇場	「地域拠点としての公民館、その半世紀とこれからの展望」～未来型公民館の在り方を探る～	講演 分科会(3)	「地域の学習拠点としての公民館」～現状と将来～
第51回	平成18年8月 3日	宗像市 宗像ユリックス	少子高齢社会に対応した公民館の在り方	講演 シンポジウム	地域へのメッセージ:会社の人から社会の人へ少子高齢社会に対応した公民館の在り方を探る
第52回	平成19年8月 8日	直方市 ユメニティのおがた	「公民館の家庭教育支援、今、何ができるか」-子どもの生活リズム向上[早寝・早起き・朝ごはん]県民運動-	講演 シンポジウム	家庭の教育力を高めるために、社会教育の力を公民館の家庭教育支援・今、何ができるか
第53回	平成20年8月 1日	朝倉市 サンライズ杷木	「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」	講演 シンポジウム	「社会全体の教育力向上」～学校・家庭・地域の連携協力～ 「学校・家庭・地域の連携を推進する公民館の役割」
第54回	平成21年8月 1日	柳川市市民会館	「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」	講演 シンポジウム	「体験活動を通じた青少年の自立とこれからの社会教育」 「教育力向上福岡県民運動の推進と公民館」
第55回	平成22年8月 4日	田川市 田川文化センター	「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」	講演 シンポジウム	「地域づくり・まちづくりと公民館の現代的役割」 「活力ある地域を創造する公民館活動のあり方」
第56回	平成23年8月 4日	行橋市 行橋市民体育館	「新しい公共」とこれからの公民館	講演 シンポジウム	「新しい公共」とこれからの公民館 「これからの公民館運営と役割」



平成24年度

(平成24年5月1日～平成25年5月1日)

自治公民館を含む
すべての公民館活動を
支援する制度です。

公民館総合補償制度

市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定められた「公民館の目的」に寄与するための施設等は、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された公民館もご加入いただけます。平成24年度は、行事傷害補償制度と職員災害補償制度の見舞金制度の一部について改定を行い、さらに安心、充実した制度となりました。

1. 行事傷害補償制度 [災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約付帯)+見舞金制度]

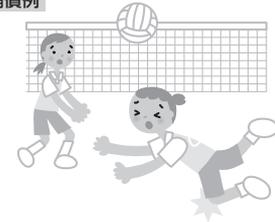
保険

- 公民館行事参加者のケガを補償します。
- 公民館利用者のケガを補償します。
- 行事の事前練習、準備中、後片付け、行事往復途上のケガを補償します。

見舞金制度 **改定**

- 急性疾病に死亡弔慰金、入院見舞金(1日目から)を支給します。
- 公民館建物災害(火災・地震・水災)に見舞金を支給します。

補償例



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

行事傷害補償制度のここがおすすめ

手続きが簡単！

- 年1回の加入手続きで年間行事が対象になり、個別の行事予定の通知は不要です。

対象者が広い！

- 行事参加者や公民館利用者の居住地は問いません。
- 公民館が公認するサークル活動の参加者も補償します。
- 有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 親が参加する行事に同伴した同居の未就学児も補償します。

補償範囲が広い！

- 日本国内であれば、行事の場所は問いません。
※別に定める危険な運動中などは対象外です。
- 公民館が参加者を事前に名簿で把握している場合は、往復途上も補償します。
- 食中毒や熱中症も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

掛金の割引あり！

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入する場合には、掛金の割引制度があります。

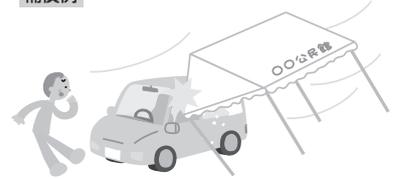
2. 賠償責任補償制度 [賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約付帯)]

保険

- 公民館の施設の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、物を破損し、公民館が法律上の賠償責任を負担した場合に補償します。

注) 公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

補償例



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

3. 職員災害補償制度 [普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約付帯)+見舞金制度]

保険

- 公民館業務に携わる方の業務中のケガを補償します。

見舞金制度 **改定**

- 公民館業務に携わる方の病気や業務外のケガに死亡弔慰金や入院見舞金(1日目から)を支給します。

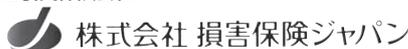
補償例



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては「平成24年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き」をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー保険サービスまたは損保ジャパンまでお寄せください。

■引受保険会社



株式会社 損害保険ジャパン
営業開発第一部第三課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03-3349-4037

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)

エコー保険サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9
TEL ☎.0120-636-717
FAX ☎.0120-226-916

公民館総合補償制度 ◆補償額と年間掛金 (平成24年5月1日午後4時から保険期間1年)

行事傷害補償制度と職員災害補償制度は、保険と見舞金制度を組み合わせたものです。掛金と<>内の保険料との差額は、見舞金制度費用に充当します。ご加入の際にお振込みいただく金額は掛金ですので、ご注意ください。ただし、賠償責任補償制度の掛金は、保険料のみの金額です。
 ※加入人数は1公民館につき1口までです。

1. 行事傷害補償制度 <災害補償保険(公民館災害補償特約・熱中症危険補償特約)＋見舞金制度>

タイプ		S 型	M 型	L 型	O 型	
保険金額	死亡・後遺障害	600万円	800万円	1,000万円	1,200万円	
	入院(1日あたり)	2,600円	3,900円	5,300円	6,500円	
	手術	手術の種類により入院日額の10倍、20倍、40倍				
弔慰金 ・ 見舞金 (見舞金制度)	通院(1日あたり)	1,400円	2,100円	2,800円	3,500円	
	急性疾病死亡	10万円	10万円	10万円	10万円	
	急性疾病入院 改定 (1日あたり)	3,000円	5,000円	8,000円	10,000円	
	※支給限度額は10万円					
	公民館 建物災害	火災	10万円	10万円	10万円	10万円
		地震 改定	5万円	5万円	7万円	10万円
水災 NEW		5万円	5万円	7万円	10万円	
1公民館あたりの 年間掛金 ※掛金のうち<>内の 金額が保険料 (単位:円)です。	世帯 数 区 分	A 1001世帯以上	81,000円 <72,500>	114,000円 <104,000>	153,000円 <134,400>	189,000円 <168,700>
		B 501~1000世帯	69,000円 <61,800>	96,000円 <87,600>	132,000円 <116,000>	165,000円 <147,300>
		C 301~500世帯	57,000円 <51,000>	78,000円 <71,200>	108,000円 <94,900>	135,000円 <120,400>
		D 201~300世帯	42,000円 <37,700>	60,000円 <54,700>	81,000円 <71,200>	102,000円 <91,100>
		E 101~200世帯	30,000円 <26,900>	42,000円 <38,400>	57,000円 <50,100>	72,000円 <64,300>
		F 100世帯以下	21,000円 <18,800>	30,000円 <27,400>	39,000円 <34,200>	51,000円 <45,400>

2. 賠償責任補償制度 <賠償責任保険(施設所有管理者特約条項・昇降機特約条項等)>

タイプ	A 型	B 型	C 型
保険金額(1事故あたり)※	5,000万円	1億円	2億円
事故対応特別費用	保険期間中を通じ、1,000万円程度		
被害者対応費用	1回の事故について被害者1名につき1万円、かつ、保険期間を通じて50万円限度		
1公民館あたりの年間掛金	3,000円	4,000円	5,000円

※1回の事故について、身体賠償と財物賠償のお支払額は合計して保険金額を限度とします。

※免責金額(自己負担額)はありません。 ※賠償責任補償制度にお申し込みの場合は、行事傷害補償制度とセットでご加入ください。

3. 職員災害補償制度 <普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約)＋見舞金制度>

タイプ		A 型	B 型	C 型	D 型	E 型(新設)
保険金額	死亡・後遺障害	350万円	600万円	800万円	1,000万円	1,200万円
	入院(1日あたり)	2,200円	3,200円	4,400円	5,400円	6,600円
	手術	手術の種類により入院日額の10倍、20倍、40倍				
弔慰金 ・ 見舞金 (見舞金制度)	通院(1日あたり)	1,100円	1,600円	2,200円	2,700円	3,300円
	死亡(疾病、業務外のケガ・業務中の地震によるケガ)	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円
	入院(1日あたり) 改定 (疾病、業務外のケガ 業務中の地震によるケガ)	2,000円	4,000円	6,000円	8,000円	10,000円
	※支給限度額は10万円					
1名あたりの年間掛金 ※掛金のうち<>内の金額が保険料(単位:円)です。		2,700円 <2,120>	4,200円 <3,320>	5,500円 <4,500>	6,700円 <5,570>	8,000円 <6,730>

※職員災害補償制度の保険部分については、団体特有の割引を適用しています(団体割引20%、優良割引10%等)。

※このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては下記エコー保険サービスまたは損保ジャパンまでお問い合わせください。

■引受保険会社



株式会社 損害保険ジャパン

■取扱代理店 (お問い合わせ・資料請求先)

営業開発第一部第三課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03-3349-4037

エコー保険サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9

エコー保険サービス(株) お客様専用フリーダイヤル(携帯・PHSからでもご利用になれます。)

TEL(フリーダイヤル)0120-636-717 FAX(フリーダイヤル)0120-226-916

(SJ12-03420, 平成24年7月5日作成)

<福岡県公民館連合会ホームページ>

福岡県公民館連合会では、市町村の特色ある公民館活動や公立公民館一覧、県公連の活動状況、実践交流会で発表された実践事例等をホームページに掲載し、情報提供に努めています。

福岡県公民館連合会ホームページ：<http://www.fukuokaken-kominkan.jp/>



YahooやGoogleなどの検索サイトから「福岡県公民館連合会」と入力してもご覧になれます。

- 「お知らせ」に新着情報を掲載していきます。
- 「福岡県公民館大会誌」にこれまでの大会誌を掲載しています。



県公連と県内公民館を結ぶ情報誌です。

年3回ホームページ上で発行しています。(7月、11月、3月)

- 市町村のページ特集
「公民館と子どもたち」
- こちら県公連

定期更新(年3回)以外に、新着情報の随時更新を行います。ぜひ、ご覧ください。